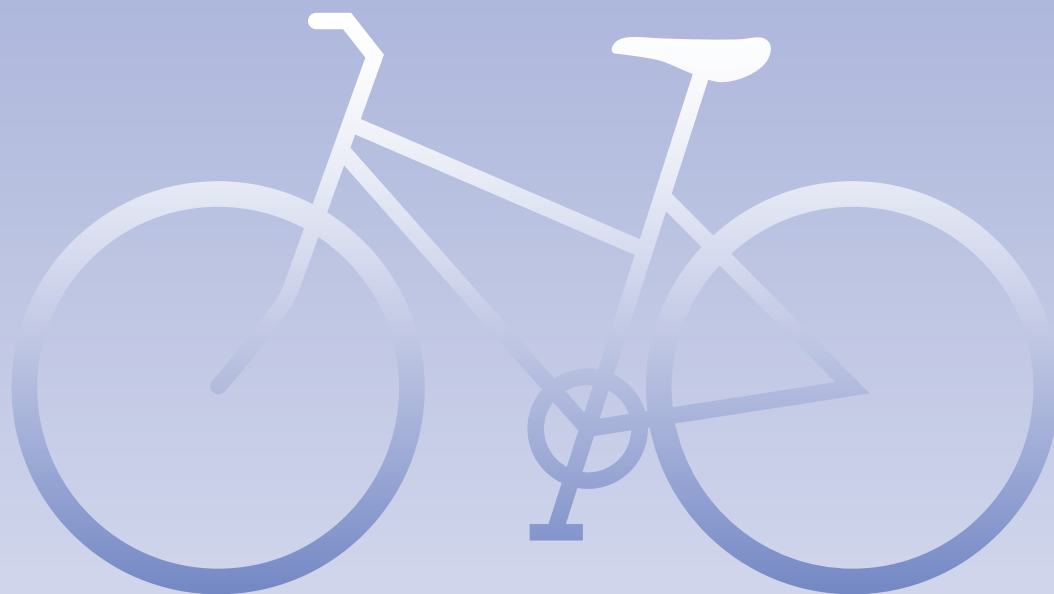


# ちがさき自転車プラン

「自転車のまち 茅ヶ崎」をめざして

[概要版]



茅ヶ崎市

# 『ちがさき自転車プラン』とは？

『ちがさき自転車プラン』は、平成14年3月に策定した『茅ヶ崎市総合交通プラン』の基本方針である「人を中心に考え、徒歩・自転車・公共交通を主体にしたバランスのある交通体系の構築」に基づき、自転車利用促進のための具体的な施策を示したものです。茅ヶ崎市では、「自転車の利用促進」をまちづくりを進めていく上で重要な施策として位置づけています。

## 自転車を快適に利用するためには何が必要なの？

茅ヶ崎市は自転車の利用が活発なまちです。しかしその反面、自転車に関する交通上の問題点も見受けられます。これら問題点を解決するためには、茅ヶ崎市ならではの発想と考え方を持って、対応することが望まれます。

### 茅ヶ崎市は **自転車** 利用が **活発** なまちです。

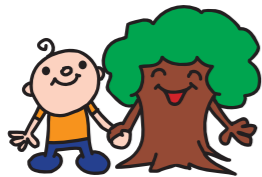
自転車は  
便利な交通手段として  
利用されている。



茅ヶ崎市内は、地形的に  
みて平坦な道が多い。



自転車は  
環境への負荷  
が少ない。



自転車は  
健康づくりに  
役立つ。



### しかしその反面、 自転車に関する **問題点** も見受けられます。



○自転車利用のルールを  
守らない人がいる。

- …例えば、
- ・夜間における無灯火走行
  - ・スピードの出し過ぎ
  - ・2人乗り
  - ・歩行者通行の妨げ など

### 自転車は 道路交通法上の 軽車両です



○自転車の正しい  
乗り方を知らない人が多い。



○自転車利用の  
マナーが悪い。

自転車に関する  
**交通事故**が多発！

- 駐輪場が不足している。
- 駐輪場の上層階は使いにくい。
- 放置自転車がある。



- 通勤で大型店舗の駐輪場に駐車する人がいる。
- 買物客が駐輪場を利用できない。
- バスに乗り換える人のための駐輪場が整備されていない。

### 駐輪場が不足している

- 都市計画道路の  
整備が遅れている。
- 歩車分離されて  
いない道路が多い。



自転車が走りやすい  
環境になっていない

### そこでこのような問題を **解決** するために次のようなことが求められます。

#### ① 利用者意識の向上

- 自転車利用者は、利用ルールを正しく理解
- ルールを守って自転車利用
- 環境や健康も考えた利用意識を醸成

#### ② 自転車利用を促進する基盤整備

- 「自転車が利用しやすい環境」と「市民が安全に生活できる環境」の共存
- 使いやすい駐輪場の整備
- 自転車走行空間などの基盤整備

#### ③ 安全で快適な交通環境の整備

- 市内をより自由に回遊するための自転車と公共交通機関の連携
- 公共交通が利用しにくい地域の解消

#### ④ 自転車から茅ヶ崎らしいまちづくり

- 交通手段以外の自転車の特性を利用
- 自転車を切り口に多様な視点でのまちづくり

# 『ちがさき自転車プラン』で茅ヶ崎市はどんなまちになるの？

みんなで取り組むための共通の目標を、将来像として次のように定め、将来像を実現するための基本方針を位置づけました。

この将来像へ向けて共に考え、行動することでこんなまちのイメージになります。

「将来像と基本方針」

## 【将来像】

人と自転車が地域をつなぎ、ゆとりある生活を楽しむ

「人と環境にやさしい自転車のまち 茅ヶ崎」

【基本方針】 — 「自転車のまち 茅ヶ崎」をめざすには何が必要なの？

- I 自転車利用の適正化
- II 市民生活と自転車が共存できるしくみづくり
- III 使いやすい駐輪場の整備・運営の見直し
- IV 自転車走行空間の整備
- V 他の交通機関との連携
- VI 自転車を通じて茅ヶ崎を知ってもらうしくみづくり

「まちのイメージ」

自転車を通して  
モラルや思いやりが生まれ、生活意識が変わる

自家用車利用の抑制につながり、環境への負荷が軽減される

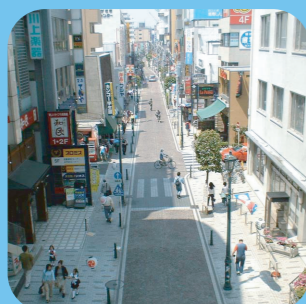


自転車利用のルールが遵守され、安全で快適な生活空間が形成される

自転車利用により、人々が茅ヶ崎らしさを体験できる



自転車を大切に使い、主たる移動手段にすることにより健康づくりにつながる



湘南の快適なスローライフを楽しむ

目的地まで徒歩・自転車で行くことができる



まちの中を自転車で活動する風景が茅ヶ崎らしさとなる

市民と中心市街地が、自転車をきっかけに繋がりを、便利で賑わいの街が形成される

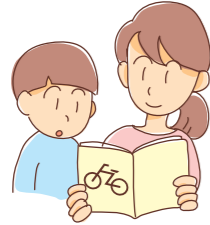


# 快適な自転車のまちにするには何をしたらいいの？

基本方針に基づき、「自転車のまち 茅ヶ崎」を実現するために実際に取り組むべき12のテーマとそのテーマにしたがった施策を定めました。

## 1 ルールを知って、正しく乗ろう

- [施策]
- 道路交通法による自転車利用ルールの周知・徹底
  - 自転車に関する情報の発信
  - 茅ヶ崎独自の新たな自転車利用のルールづくり



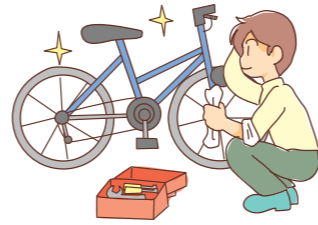
## 2 「自転車のまち 茅ヶ崎」を知ろう

- [施策]
- 「自転車のまち 茅ヶ崎」を実現するための条例化の検討
  - 茅ヶ崎自転車スタイルの追求
  - 「自転車のまち 茅ヶ崎」を広くアピールするイベントの開催



## 3 自転車をながく大事に使います

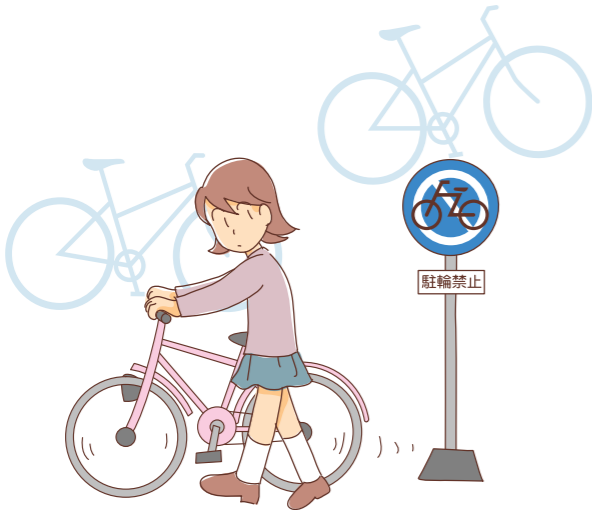
- [施策]
- 自転車修理・点検サービスの確立
  - 自転車整備技術者養成機関の設立の検討



## I. 自転車利用の適正化

## 4 自転車放置禁止区域の見直し

- [施策]
- 適正な自転車放置禁止区域の設置
  - 自転車放置禁止区域の周知



## 5 放置自転車の撤去、引取り有料化

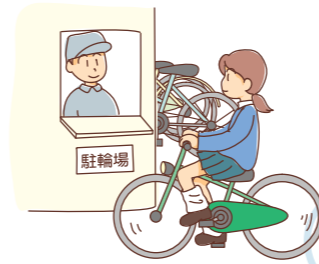
- [施策]
- 放置自転車撤去の推進及び引取り有料化の検討



## II. 市民生活と自転車が共存できるしくみづくり

## 6 鉄道駅周辺の駐輪場配置

- [施策]
- 鉄道駅周辺の駐輪場整備  
・整備目標に基づく駐輪場整備



## 7 お買い物は自転車で

- [施策]
- 買い物客向けの駐輪場の整備  
・商業地におけるまちなか駐輪場の整備等



## 8 駐輪場を使いやすく

- [施策]
- 使いやすい駐輪場サービスの推進  
・既存駐輪場サービスの改善  
・駐輪場利用促進サービスの検討



## III. 使いやすい駐輪場の整備・運営の見直し

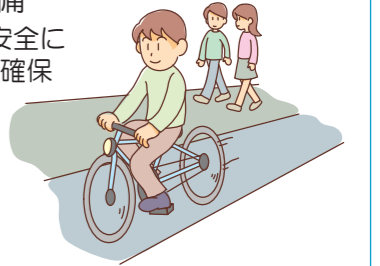
## 9 既存道路における走行空間の整備

- [施策]
- 既存道路の整備改善  
・問題箇所の整理等
  - モデル路線の整備  
・モデル路線を設定し、整備・改善



## 10 新たな自転車道の整備

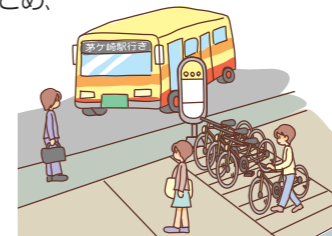
- [施策]
- 新たな自転車道の整備  
・歩行者、自転車が共に安全に通行できる交通空間の確保
  - ・自転車での市内回遊ネットワークの確保



## IV. 自転車走行空間の整備

## 11 新たな自転車システムの導入

- [施策]
- サイクルアンドバスライド  
・バス停付近に自転車をとめ、バスに乗り換えるシステム
  - パークアンドサイクル  
・市街地中心部外縁に自動車をとめ、自転車に乗り換えるシステム
  - 茅ヶ崎レンタサイクルシステムの導入(貸出自転車)
  - 他の公共交通への自転車の持ち込み



## V. 他の交通機関との連携

## 12 すいすい乗って、どんどん発見

- [施策]
- 「自転車のまち 茅ヶ崎」マップづくり  
・観光情報の他に自転車でのモデルルート、自転車関連情報等の掲載



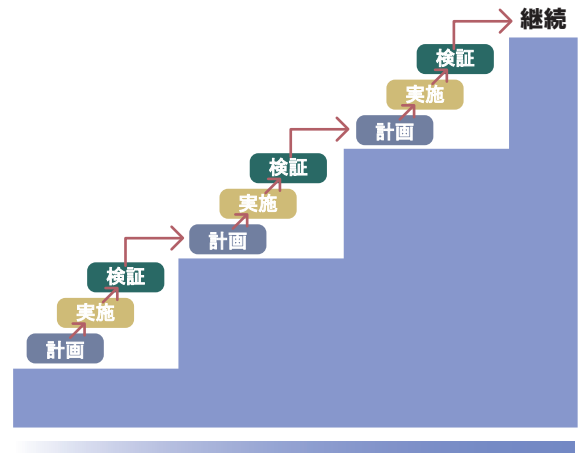
## VI. 自転車を通じて茅ヶ崎を知ってもらうしくみづくり

# できることから始めよう！

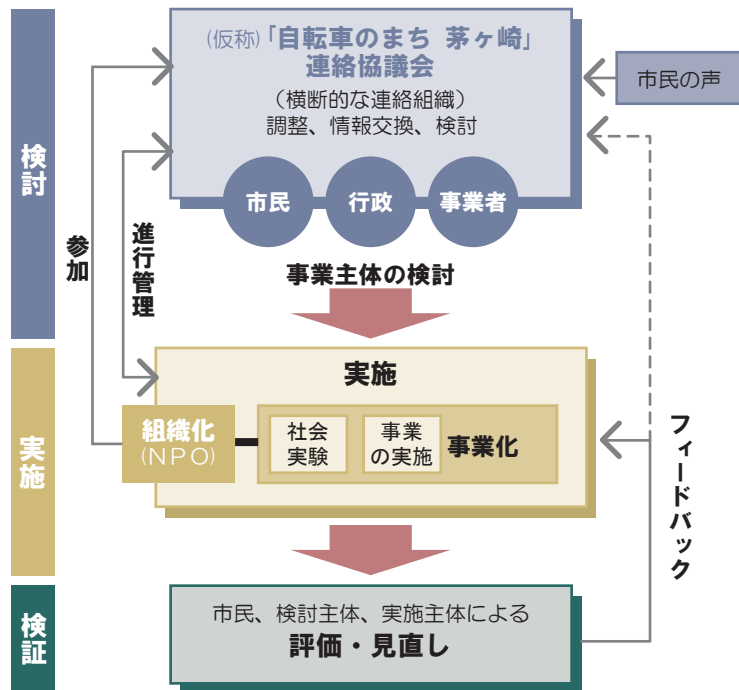
「自転車のまち 茅ヶ崎」の実現へ向けて施策を推進していくためには、市民・事業者・行政がパートナーシップを前提に役割分担をしっかりと決め、計画-実施-検証のサイクルを持続していくことが大切です。



市民・事業者・行政のパートナーシップは情報の共有化から始まります



現在 将来  
計画-実施-検証のサイクルで時代の変化や市民のニーズに対応します



『ちがさき自転車プラン』推進のしくみ